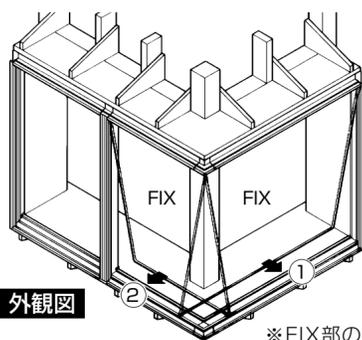


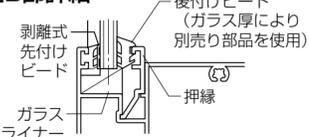
■FIX部のガラス入れとシーリング処理について

- ①左右枠のうち、長手のガラスから入れます。室内側からケンドン式で、上下枠に差し込んでください。
- ②もう一方のガラスも同じ要領で入れます。
- ③突合わせ部のすき間は、5mmにします。上下のすき間が同じにならない場合や、ころびのある場合はガラスライナーにカイ物を入れ、突合わせ面を平らにします。
- ④ガラスの調整をした後、室内側からFIX縦枠と下枠に押縁を入れ、後付けビードで固定します。
- ⑤ガラス突き合わせ部は油や水滴、ゴミ等が付いているとシーリングの際、剥離の原因となりますので、処理面の汚れをきれいにふき取ります。
- ⑥シーリング箇所周辺を、テープでマスキングし、シリコンシーラント(透明)で処理します。終了後、テープをはがし、そのまま一昼夜養生します。
- ⑦上下枠コーナーブロックとガラスの屋外側との溝はシーリングでふさいでください。



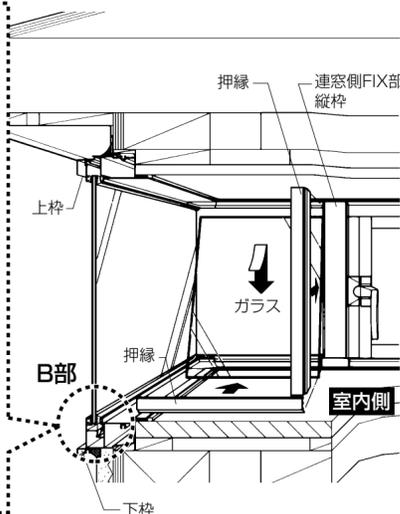
※FIX部のガラスは、枠を躯体に固定した後、入れてください。

■B部詳細

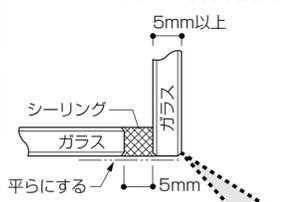


●別売の後付けビード

FIX部使用ガラス厚	使用ビード
5mm	5mm用と指定してください。
6mm	6mm用と指定してください。
6.8mm	6.8mm用と指定してください。
8mm	先に先付けビードを剥離してから6.8mm用を使用してください。



■ガラス突合わせ部詳細図



▲注意
●各ガラスは、両面とりをしてください

▲注意
●指定箇所にシーリング処理を施してください。

【ガラス寸法表】

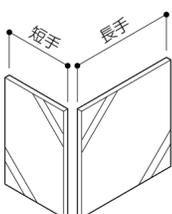
●H寸法 (単位mm)

姿図	07	09	11	13	15
FIX部	710	910	1110	1310	1510

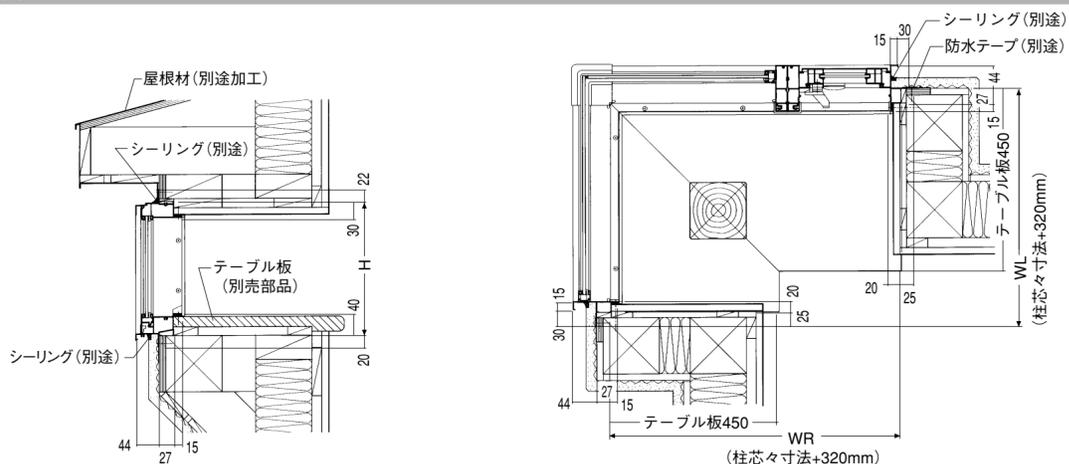
●W寸法 (単位mm)

姿図	タイプ	011	048	074	119	165
CFタイプ(L)	FIX部	428	803	1258	1713	2123
	FIX部	438	813	1268	1723	2133
CFタイプ(R)	FIX部	428	803	1258	1713	2123
	FIX部	438	813	1268	1723	2133

※FIX部のW寸法は、突合わせのため左・右の窓のいずれか一方を10mm短くします。FIXガラス寸法表中、上段が短手、下段が長手になっています。下図のように、長手・短手の組合わせで選んでください。



■参考納まり図



■施工される方へのお願い

※オプションのテーブル板は、サッシ枠を固定する前に取り付けてください。

サッシ枠の固定後では取り付けられませんのでご注意ください。

●本説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(有償)を張ってください。
- 本製品では、かなりの重量(最大120Kg)が窓台にかかります。躯体は十分に補強してください。
- ガラス破損や、接触時のケガの恐れがあるので、ガラスは5mm以上を使用し、突合わせ部は必ず両面取りをしてください。
- 枠の組立ての際は、雨漏り防止のためコーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように位置を合わせてねじ止めしてください。ねじ止め後、緩みやガタツキがないか確認してください。
- マーキング箇所□は、組み立て後別途シーリング処理してください。

■組合わせタイプ

●CFタイプ(R)+Tタイプ(L)+CKタイプ(L) ●CKタイプ(R)+CFタイプ(L)+Tタイプ(R) ※()内は室内側から見た方向です。(R)=右、(L)=左
※CKタイプは障子付き窓、CFタイプは出隅コーナーFIX窓、Tタイプは縦すべり出し窓を表します。

●CKタイプ(R)+CKタイプ(L) ●CFタイプ(R)+CKタイプ(L) ●CKタイプ(R)+CFタイプ(L) ●CFタイプ(R)+CFタイプ(L)

■ねじ一覧表

図中の①~⑥はねじの種類を表します。

■CKタイプ

①	②	③	④	⑤
ナベタッピンねじ φ4×70	トラスタッピンねじ φ4×8	皿小ねじ M4×8	スクリュー釘 φ2.1×25	皿木ねじ φ3.5×20

■CFタイプ

①	②	③	④	⑤
ナベタッピンねじ φ4×90	トラスタッピンねじ φ4×8	皿小ねじ M4×8	スクリュー釘 φ2.1×25	皿木ねじ φ3.5×20

【CKタイプ】

■取付け順序

1 枠の組立て

2 開口部の作り方

3 枠の取付け

■取付け詳細

1 枠の組立て

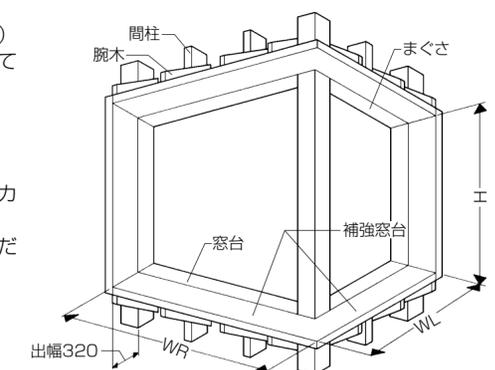
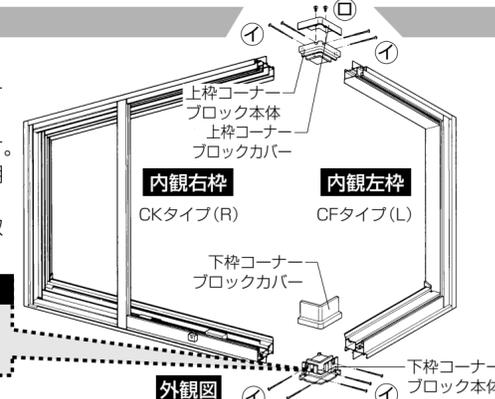
※CKタイプ(R)+CFタイプ(L)で説明してあります。
①コーナーブロックで左右の枠を一体にします。※左・右枠の組立ては、別紙、組立て説明書をご覧ください。
②必ず、左・右枠の組立てた後、躯体に取り付けます。

▲注意

●コーキングシーラー(下枠を確実に合せます)

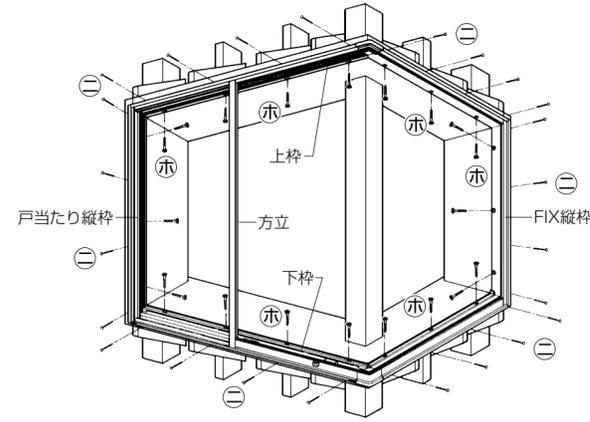
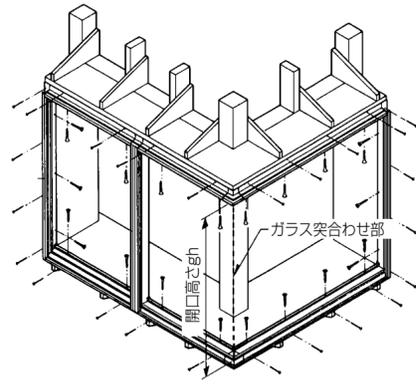
2 開口部の作り方

※本製品は、かなり重量(最大で約120Kg)がありますので開口部の補強は十分にしてください。
①取付け面を平らにします。
②左右の窓台を同じ高さで水平にします。
③コーナー部の直角を正確に出します。
※WR・WL・Hはサッシの基本寸法です。カタログを参考に作ってください。
※補強した躯体の水平・垂直を確認してください。



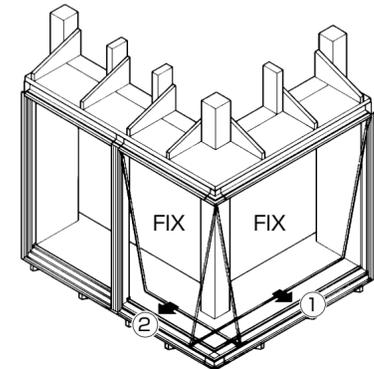
3 枠の取付け

- ① 一体に組み立てた枠を窓台にのせ、仮止めします。
- ② 左・右縦枠の鉛直と下枠の水平を出します。
- ③ ガラス突合わせ部分の開口高さ(gh)を、縦枠部分と同じに調整した後、枠全体を固定します。
※開口高さ(gh)が正確でないとガラス入れができなくなります。
※テーブル板の取付けは、サッシ取付け前に行なってください。
※サッシ枠の水平・垂直を出しながら外観(外側)は、スクリュー釘(φ2.1×25)で固定し、内観(内側)は皿木ねじ(φ3.5×20)で固定します。



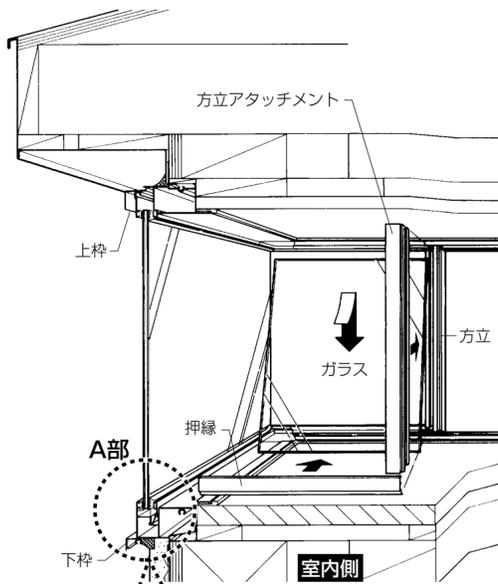
FIX部のガラス入れ

- ※FIX部のガラスは、枠を躯体に固定した後、入れてください。
- ① 室内側より長手のガラスから先に入れます。
 - ② 方立アタッチメントは、クレセント受けを外してから方立に入れます。
 - ③ 下押縁をFIX下枠に入れます。
 - ④ 後付けビードでガラスを固定後、クレセント受けを取り付けます。



FIX部のガラス入れとシーリング処理について

- ① 左右枠のうち、長手のガラスから入れます。室内側からケンドン式で、上下枠に差し込んでください。
- ② もう一方のガラスも同じ要領で入れます。
- ③ 突合わせ部のすき間は、5mmにします。上下のすき間が同じにならない場合や、ころびのある場合ガラスライナーにカイ物を入れ、突合わせ面を平らにします。
- ④ ガラスの調整をした後、室内側から方立と下枠に押縁を入れ、後付けビードで固定します。
- ⑤ ガラス突合わせ部は油や水滴、ゴミ等が付いているとシーリングの際、剥離の原因となりますので、処理面の汚れをきれいにふき取ります。
- ⑥ シーリング箇所周辺を、テープでマスキングし、シリコンシーラント(透明)で処理します。終了後、テープをはがし、そのまま一昼夜養生します。
- ⑦ 上下枠コーナブロックとガラスの屋外側との溝はシーリングでふさいでください。



【ガラス寸法表】

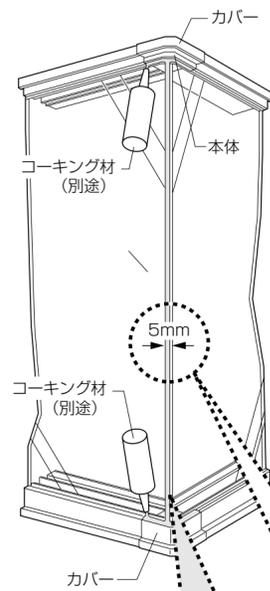
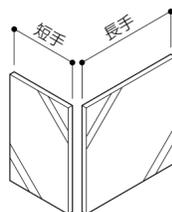
●H寸法 (単位mm)

姿図		07	09	11	13	15
障子部	W	646	846	1046	1246	1446
	FIX部	710	910	1110	1310	1510

●W寸法 (単位mm)

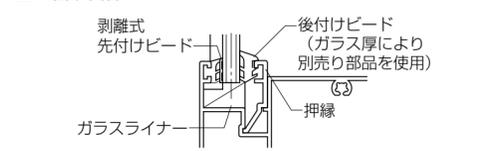
姿図	タイプ	074	119	165
CKタイプ(L)	障子部	444	618	774
	FIX部	774	1055	1309
CKタイプ(R)	障子部	444	618	774
	FIX部	774	1055	1309
		784	1065	1319

※FIX部のW寸法は、突合わせのため左・右の窓のいずれか一方を10mm短くします。FIXガラス寸法表中、上段が短手、下段が長手になっています。下図のように、長手・短手の組合わせで選んでください。



▲注意
●指定個所にシーリング処理を施してください。

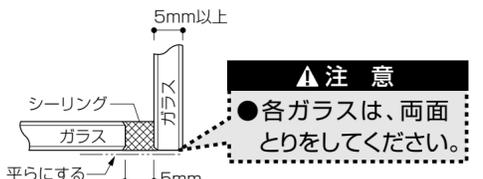
●A部詳細



●別売の後付けビード

FIX部使用ガラス厚	使用ビード
5mm	5mm用と指定してください。
6mm	6mm用と指定してください。
6.8mm	6.8mm用と指定してください。
8mm	先に先付けビードを剥離してから6.8mm用を使用してください。

●ガラス突合わせ部詳細図



【CFタイプ】

取付け順序

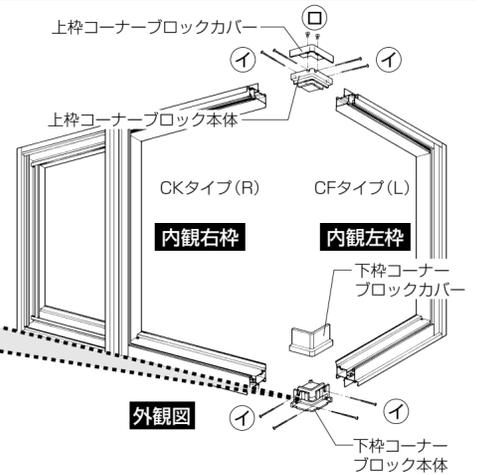
1 枠の組立て

取付け詳細

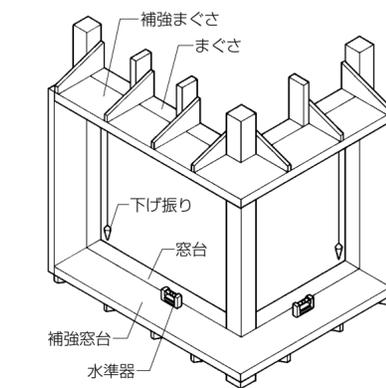
1 枠の組立て

- ※CFタイプ(R)+Tタイプ(L)+CFタイプ(L)で説明してあります。
- ① コーナブロックで左右の枠を一体にします。※左・右枠の組立ては、別紙、組立て説明書をご覧ください。
 - ② 必ず、左・右枠の組立てた後、躯体に取り付けます。

▲注意
●コーキングシーラー(下枠を確実に合せます)

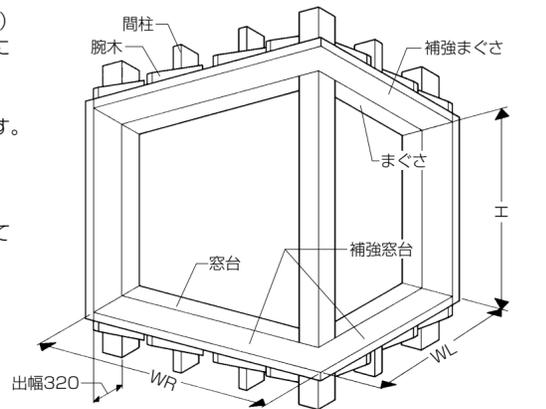


2 開口部の作り方

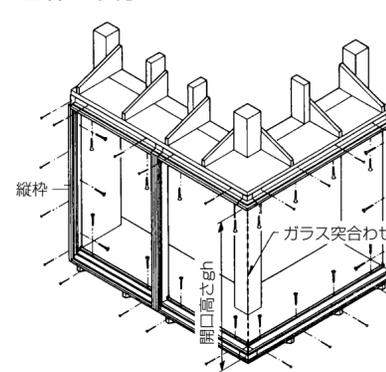


2 開口部の作り方

- ※本製品は、かなり重量(最大で約120Kg)がありますので開口部の補強は十分にしてください。
- ① 取付け面を平にします。
 - ② 左右の窓台を同じ高さで水平にします。
 - ③ コーナ部の直角を正確に出します。※WR・WL・Hはサッシの基本寸法です。カタログを参考に作ってください。※補強した躯体の水平・垂直を確認してください。

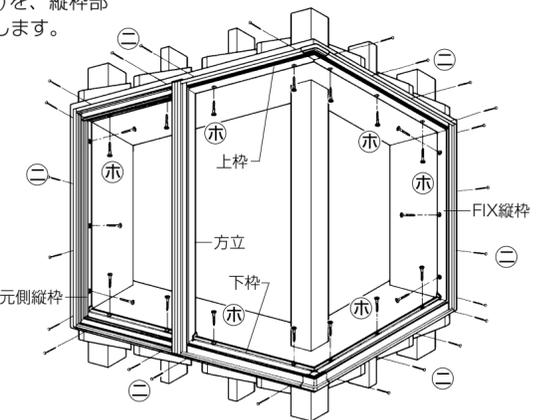


3 枠の取付け



3 枠の取付け

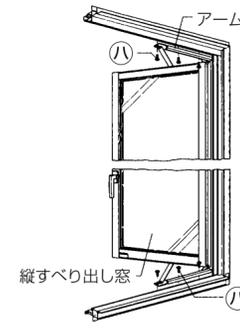
- ① 一体に組み立てた枠を窓台にのせ、仮止めします。
- ② 左・右縦枠の鉛直と下枠の水平を出します。
- ③ ガラス突合わせ部分の開口高さ(gh)を、縦枠部分と同じに調整した後、枠全体を固定します。
※開口高さ(gh)が正確でないとガラス入れができなくなります。
※テーブル板の取付けは、サッシ取付け前に行なってください。
※サッシ枠の水平・垂直を出しながら外観(外側)は、スクリュー釘(φ2.1×25)で固定し、内観(内側)は皿木ねじ(φ3.5×20)で固定します。



4 枠への障子の取付け

4 枠への障子の取付け

- 障子に付いているアームを枠に固定します。



内観図